

第49回

日本死の臨床研究会年次大会

原点回帰 ～生、そして死を慈しむ～

会期

2026年10月31日(土)・11月1日(日)



大会長

中村 陽一 (東邦大学医学部 臨床腫瘍学講座 緩和医療学分野
／東邦大学医療センター大森病院 緩和ケアセンター)

前澤美代子 (山梨県立大学大学院看護学研究科・看護学部 がん看護学)

会場

山梨県立大学 池田キャンパス

〒400-0069 山梨県甲府市池田1-6-1

ハイブリッド開催

対面とライブ配信 (Zoom) を併用／一部コンテンツをオンデマンド配信予定
オンデマンド配信期間：開催2週間後～12月末頃



演題募集期間 2026年4月1日(水)～5月31日(日)
一次参加登録期間(現地参加・オンライン参加) 2026年6月1日(月)～10月9日(金)
二次参加登録期間(オンライン参加・事後オンデマンド視聴) 2026年10月13日(火)～11月30日(月)

詳細は大会HPをご確認ください。

またお問い合わせはホームページ内「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

【大会事務局】山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 准教授 高岸弘美

<https://jard49.jp/>



主催

JARD

一般社団法人 日本死の臨床研究会

共催



公立大学法人 山梨県立大学

第49回

日本死の臨床研究会 年次大会

原点回帰 ～生、そして死を慈しむ～

大会長挨拶

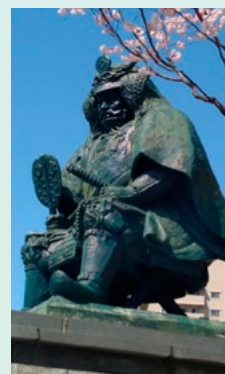
中村 陽一 (東邦大学医学部 臨床腫瘍学講座 緩和医療学分野 / 東邦大学医療センター大森病院 緩和ケアセンター)

前澤美代子 (山梨県立大学大学院看護学研究科・看護学部 がん看護学)

本大会は49回目を迎えました。この数字は、四苦八苦の四苦につながり、四苦とは生老病死を指します。生きること、生きていること、老いること、やむこと、そして死にゆくこと、すべてを受け入れていつくしむ、このような時間を皆様と共有したいと思います。

晩秋の山梨では、世界遺産の富士山の紅葉や温泉、葡萄やワイン、八ヶ岳高原のさわやかな風など秋の味覚や自然を楽しむことができます。

甲斐の国 甲府にて、全国の皆様のご参加をお待ち申し上げます。



プログラム(予定)

■講演(敬称略)

- ・西村 宏堂 「多様性の時代を生きる」
- ・古川 周賢 「あの世とこの世 修行と生きること」
- ・清水 研 「死から生をみつめる医療と関わり」
- ・内藤いづみ 「あした野原に出てみよう」
- ・大西 秀樹 遺族外来
- ・田村 恵子 ともいき京都の活動から
- ・高宮 有介 マインドフルネス/セルフコンパッション

他 AI、文学、俳句 等のセッションも予定

■一般演題(示説・口演)、事例検討、市民公開講座、災害関連企画 等

*1日目の終わりに懇親会(有料・事前申込制)を予定しています。

*テーマは仮題です。内容の変更等はホームページにて随時ご案内いたします。

■第49回 日本死の臨床研究会 年次大会 ホームページ

プログラムや各種お知らせ、演題登録および参加費、参加登録方法など、大会に関する詳細は大会ホームページからご確認ください。
またお問い合わせはホームページ内「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

会場アクセス




会場：山梨県立大学池田キャンパス

〒400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1 TEL.055-253-7780

<https://jard49.jp/>



主催 | **JARD** 一般社団法人 日本死の臨床研究会

共催 |  公立大学法人 山梨県立大学

【大会事務局】山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 准教授 高岸弘美